

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	コロナ禍でこれまでのように面会できない家族のために、個人情報の取り扱いに留意しつつ、例えばSMSなどを活用して、写真や動画などで利用者の状況を伝えるなど、家族との信頼関係の維持のためのさらなる取り組みを期待したい。	コロナ禍で面会できない家族様、関係者様に個人情報の取り扱いに留意し、写真、動画などで状況を伝える。	写真等は12月分領収書の発送時郵送しました、Wi-Fiは1月14日に工事済み器具は配置待ち。タブレット端末1台稼働中、LINEビデオ通話での面会は可能な為予約受付している。	3カ月
2	13	夜間の火災、とくに2階の利用者の避難については、引き続き訓練を通して、課題を話し合うこと、また、消防団など地域の消防組織との連携を期待したい。	夜間火災、2階の利用者の避難について訓練を通して、課題を話し合う、地域住民者の協力を得る。	夜勤者の避難訓練を年2回実施し、自然災害に対して随時避難マニュアルに沿って避難できるよう全スタッフに伝達しておく、地域の連携をとり利用者様の安全確保に努める。	即時
3	18	地域の感染状況を踏まえつつ、近隣の散歩やドライブなど、他人との接触を回避できる方法で、屋外に出る機会を増やしていくことを期待したい。	地域の感染状況を踏まえ、近郊の散歩やドライブなど野外に出る機会を増やす。	天候と入居者様の体調を看ながらホームの駐車場、周辺の散歩、ドライブ等を実施し、外出の機会を増やしていく。	即時
4	17	入居者の重度化が進む中、介護者、利用者ともに安楽に入浴できるよう福祉用具などを積極的に活用することを期待したい。	入居者の重度が進む中安楽に入浴できるよう努める。	ADLの状態によっては2人対応で実施する。又バスボード・グリップ等福祉用具を導入し、安全・安楽な入浴を提供し、身体の清潔保護、精神的な安定等に努める。	3カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)